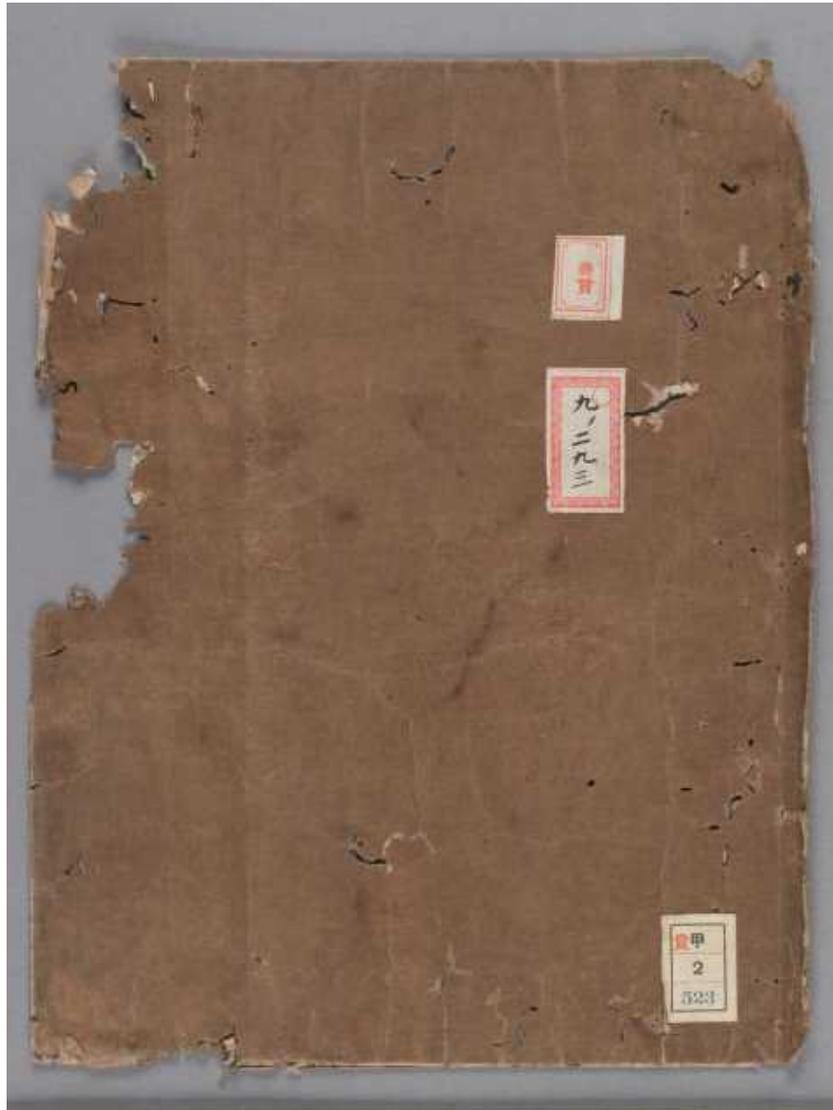
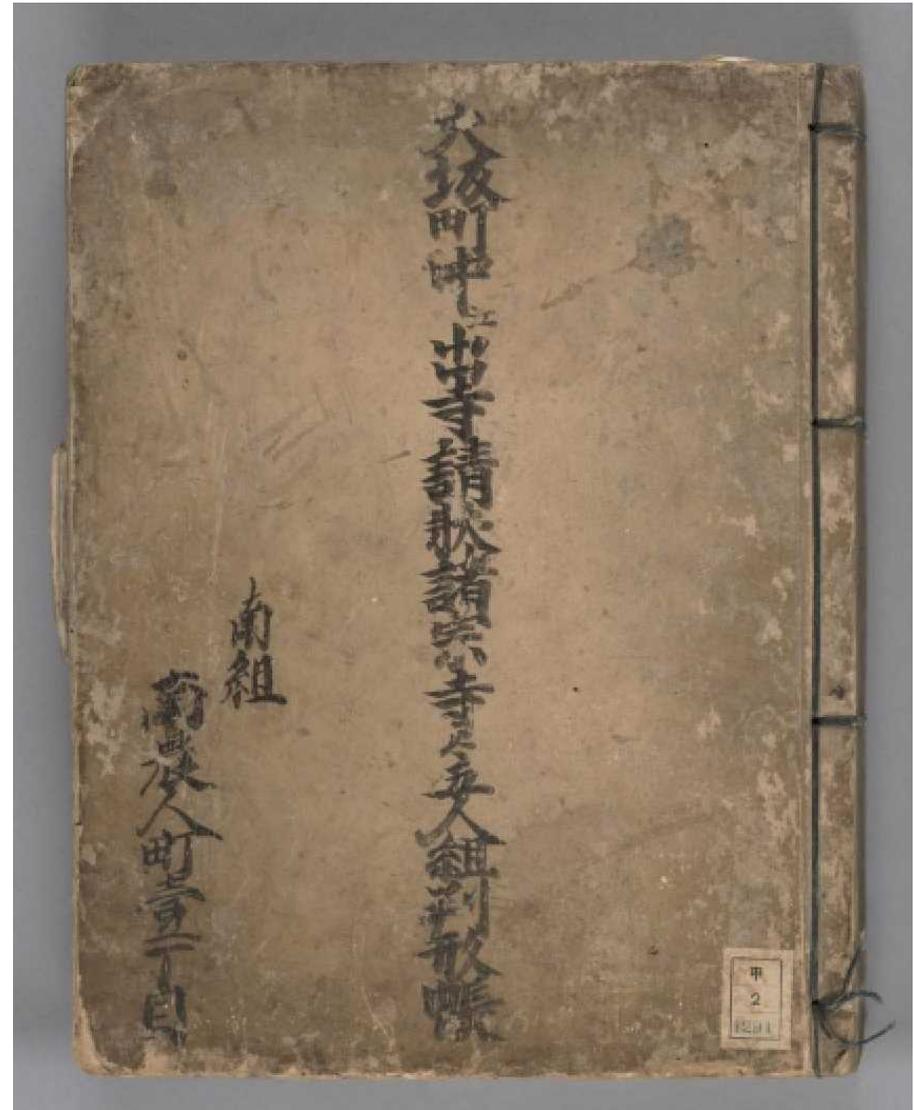


『御前落居記録』



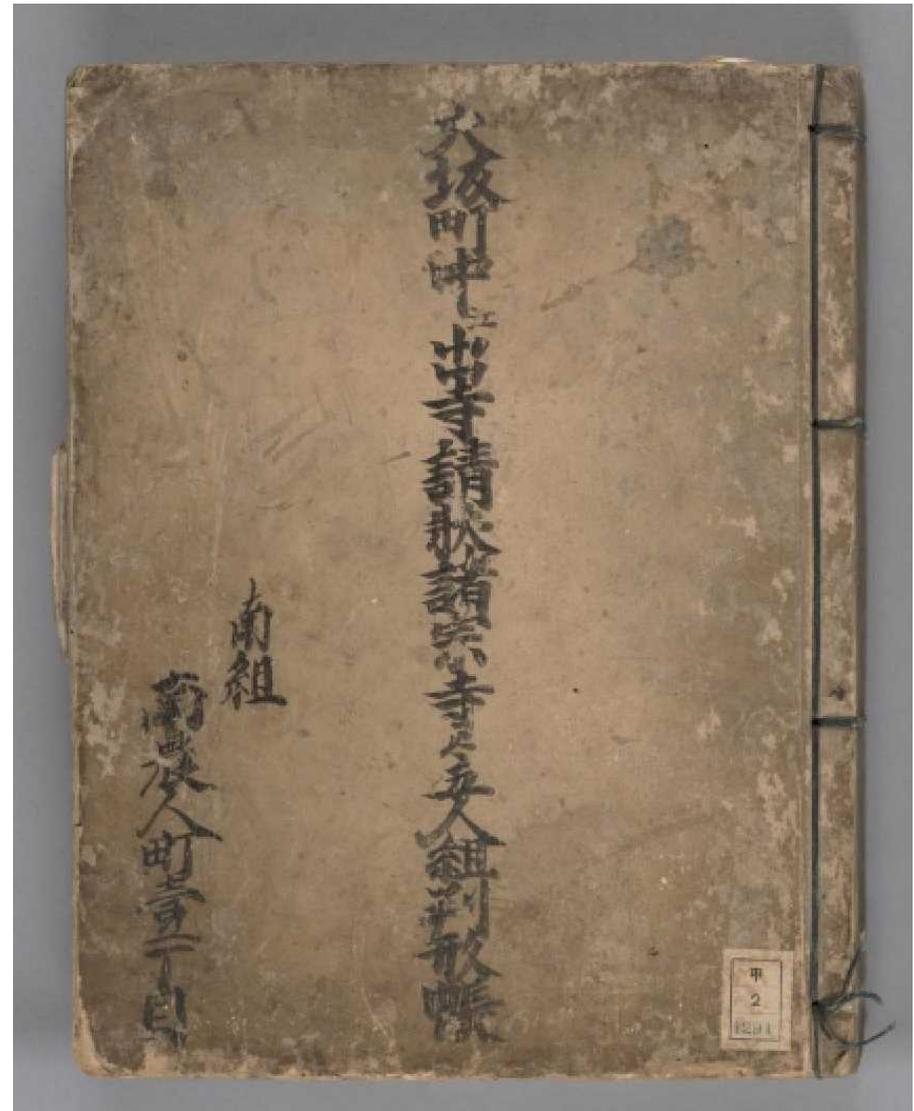
『大坂町中江出寺請状諸宗寺々五人組判形帳』



『御前落居記録』



『大坂町中江出寺請状諸宗寺々五人組判形帳』



浄土宗和恩院派

西寺町

西往寺



同所

光明寺



光以寺

同所

光傳寺



浄土宗和恩院派
光傳寺
御公儀在唐宮經年長考存古改

同所

宗念寺



西寺町

正覚寺

正覚寺



右五人組

西寺町

善龍寺



源聖寺



改字
源聖寺
右五寺町

印鑑

浄土宗和恩院派

西寺町

西往寺



同所

光明寺



光明寺

同所

光傳寺



浄土宗和恩院派之御願所
光傳寺
御台儀住持常實經筆長光傳寺

同所

宗念寺



印鑑

西寺町

正覚寺



正覚寺



八組

善龍寺



西寺町
善龍寺

印鑑

源聖寺



改字
源聖寺

『御前落居記録』



『大坂町中江出寺請状諸宗寺々五人組判形帳』



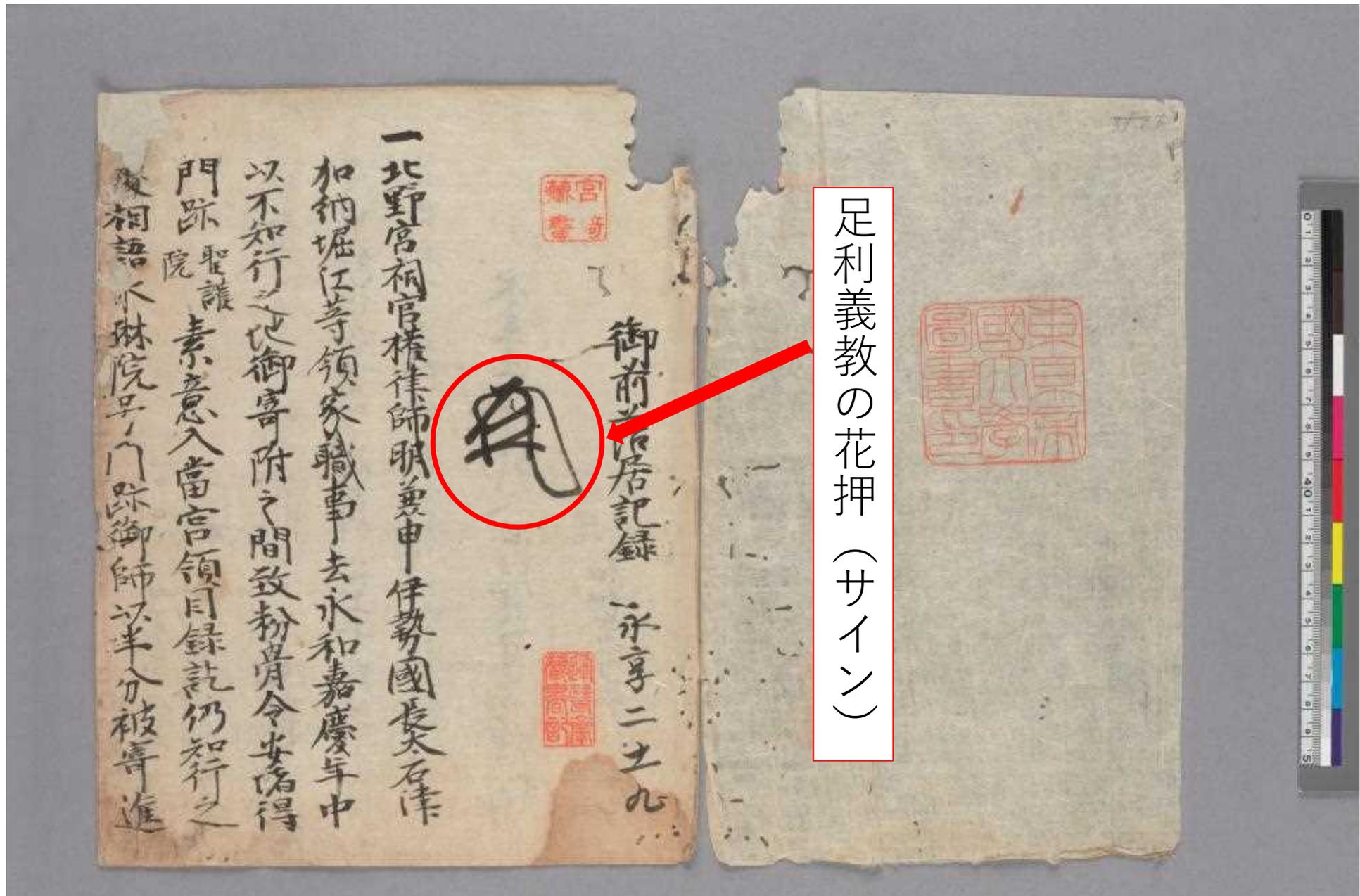
一北野宮祠官権律師明兼申一伊勢國長太石津
 加納堀江寺領家職事去永和嘉慶年中
 以不知行之地御寄附之間致粉骨令安堵得
 門跡聖護院素意入當宮領目錄訖仍知之
 後相語小琳院号門跡御師以半分被寄進

御前落居記録 永享二之九

蘇宮書

蘇宮書





一北野宮祠官権律師明兼申
 伊勢國長太石津
 加納堀江寺領家職事去永和嘉慶年中
 以不知行之地御寄附之間致粉骨令安諸得
 門跡聖護院素意入當宮領目錄訖仍知行之
 後相語小琳院号門跡御師以半分被寄進

御寄附
 書

御前
 居記録
 一永享二之九

御寄附
 書

足利義教
 印

足利義教の花押 (サイン)



一拾非遠使右馬大尉負弘申左衛門尉年
元祿事



坊城菅少納言益長押坊由祝許申被先
日限昨日申一制等支状再支證等旨為
秀藤奉行被取觸之乍寫丸許状公道辭
貞連

上者可被如下涉教書書矣弘也 寫

永享二年十月十五日 大和守貞連有



一送酒正師飯与中御門大納言家
相論酒鑑役事理非
延被尋作傳卷三人託然同

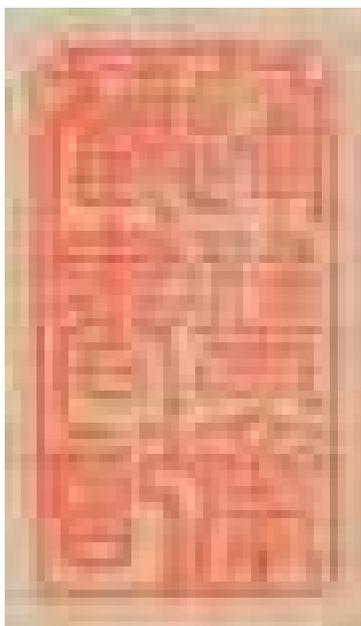


一北野宮祠官権律師明兼申伊勢國長安石津
 加納堀江寺領家職事去永和嘉慶年中
 以不知行之比御寄附之間致粉骨令安滿得
 門跡聖議院素意入當宮領目錄訖仍知行之
 及相語小琳院早門跡御師以半分被寄進

御前落居記録 永享二之九



丸



運甃齋
蔵書記

宮崎
蔵書



東京帝
國大學
圖書印



[宮崎蔵書]

東京帝国大学法科大学教授宮崎道三郎の蔵書印
法学部図書室に約400点（うち法制史資料室に約100点）確認
学内他部局に6点確認



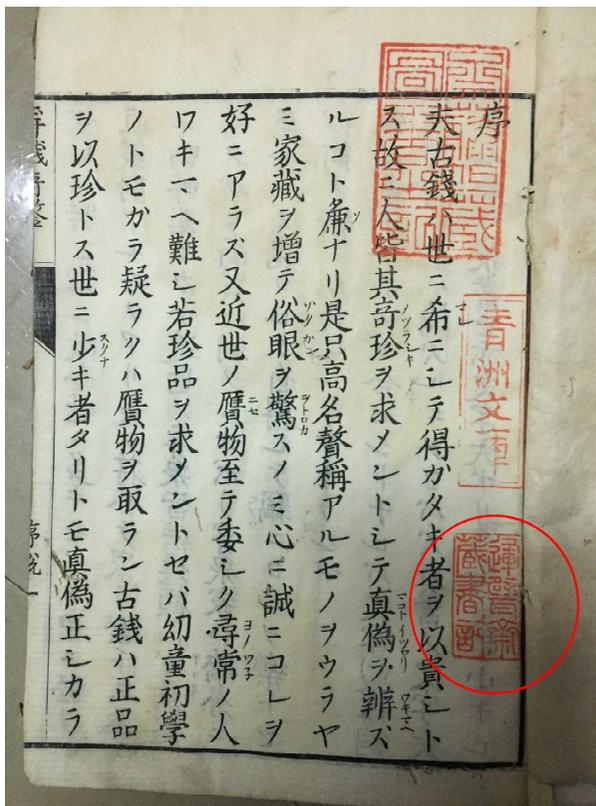
[運甓斎蔵書記]

同印を持つ東京大学附属総合図書館蔵本

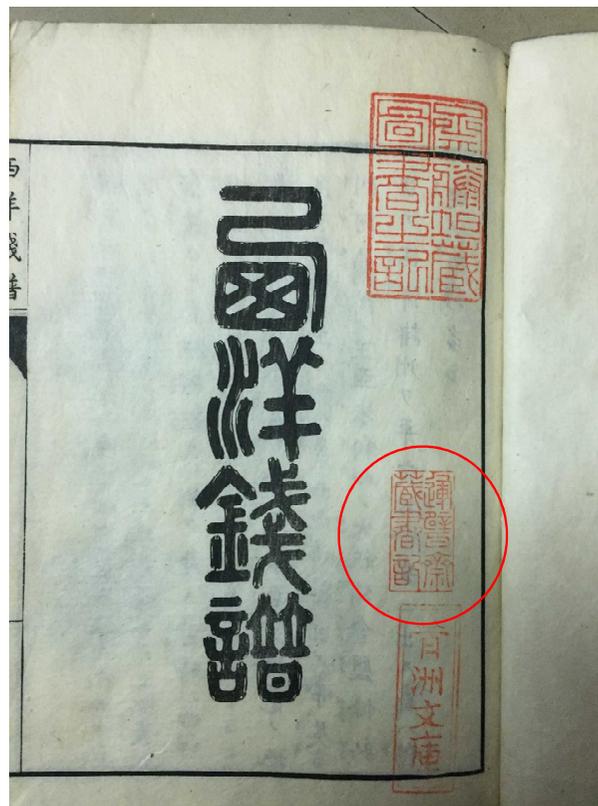
- 『古銭鏡』（享保14年板本）：「**運甓斎蔵書記**」「齋藤坦藏圖書之記」「青洲文庫」
『西洋錢譜』（天明7年板本）：「**運甓斎蔵書記**」「齋藤坦藏図書之記」「青洲文庫」
『弄錢奇鑒』（三巻、寛政8～11年板本）：「齋藤坦藏圖書之記」「**運甓斎蔵書記**」
「伊勢春木房光松圃圖書之記」「春木文庫」
「乾野精玩」「青洲文庫」

同印を持つ他部局・他機関蔵本

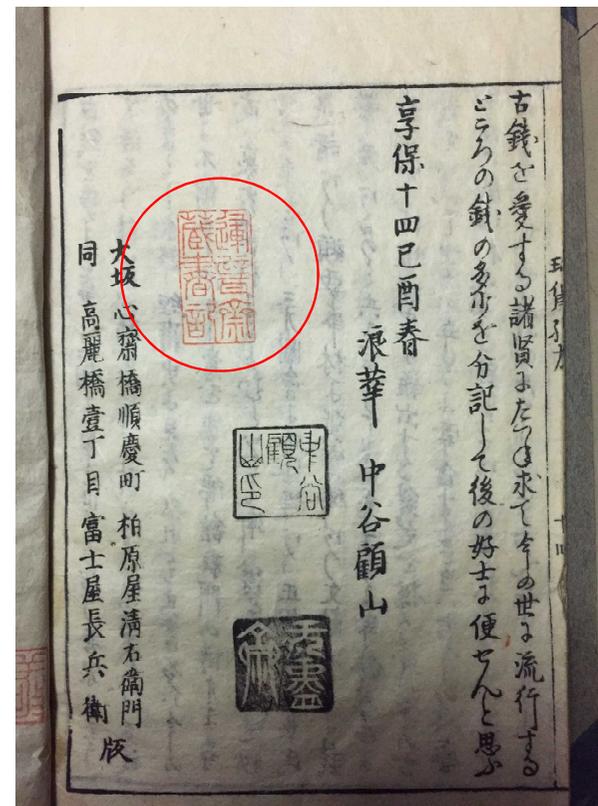
- ※東大 国文蔵『内裏三吟御百首』〔元龜4横瀬保広写本／「**運甓斎蔵書記**」印あり〕
※明大 蘆田文庫蔵『武州豊島郡江戸庄圖』〔寛永板本／「**運甓斎蔵書記**」印あり〕
※岩瀬文庫蔵『日本唐土二千年袖鑑』〔嘉永5年板本／「**運甓斎蔵書記**」印あり〕



『弄錢奇鑒』



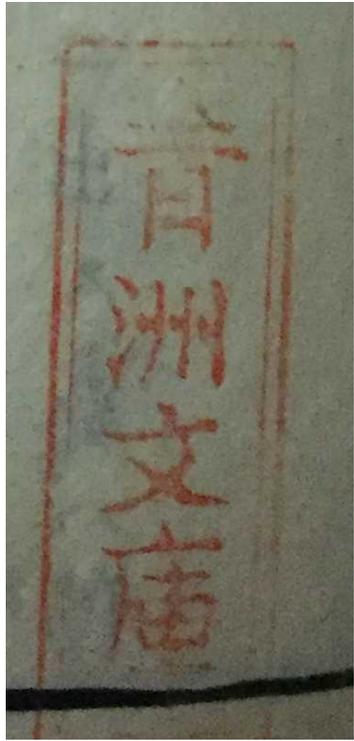
『西洋錢譜』



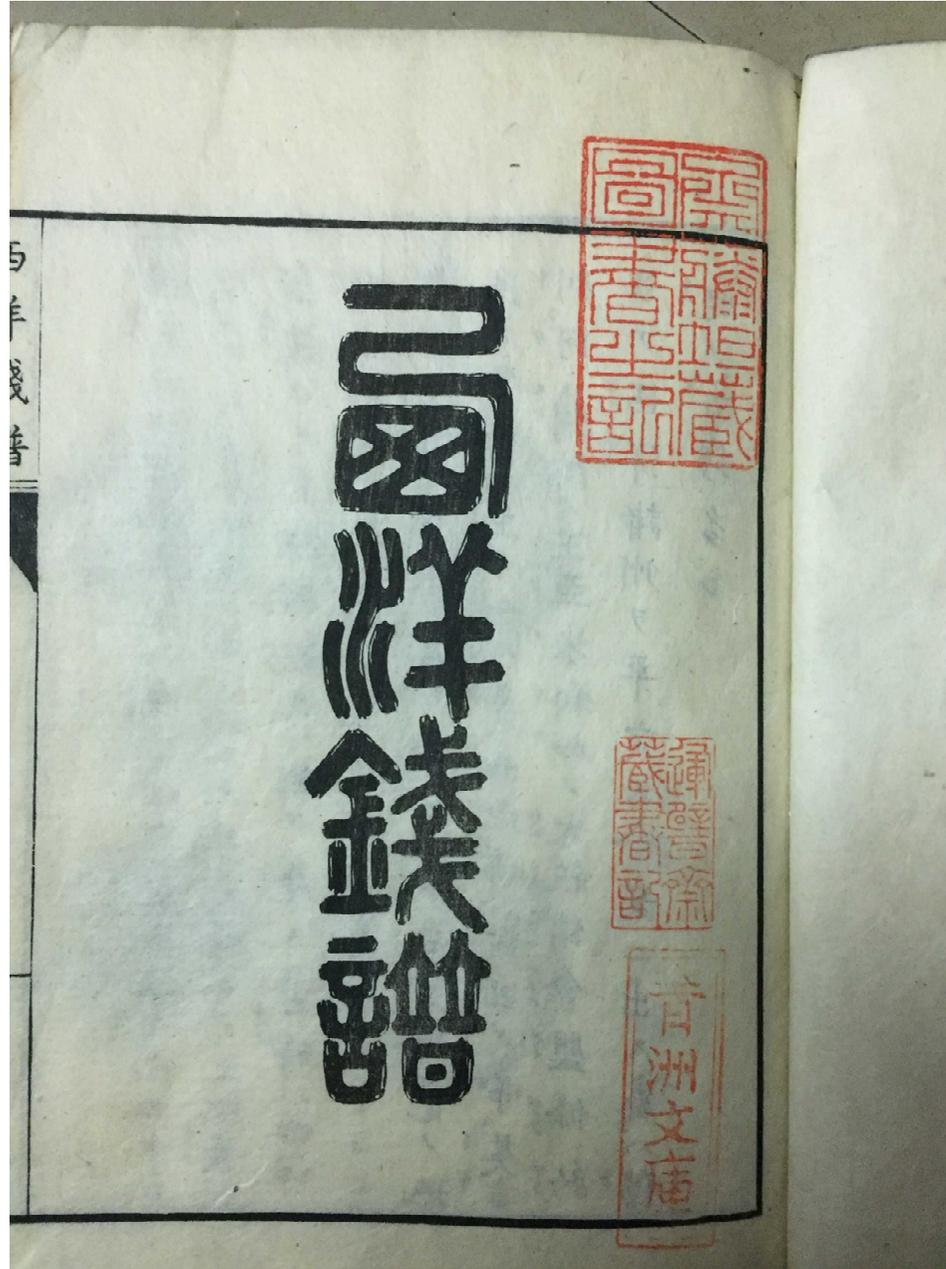
『古錢鏡』



いずれも東京大学附属総合図書館蔵



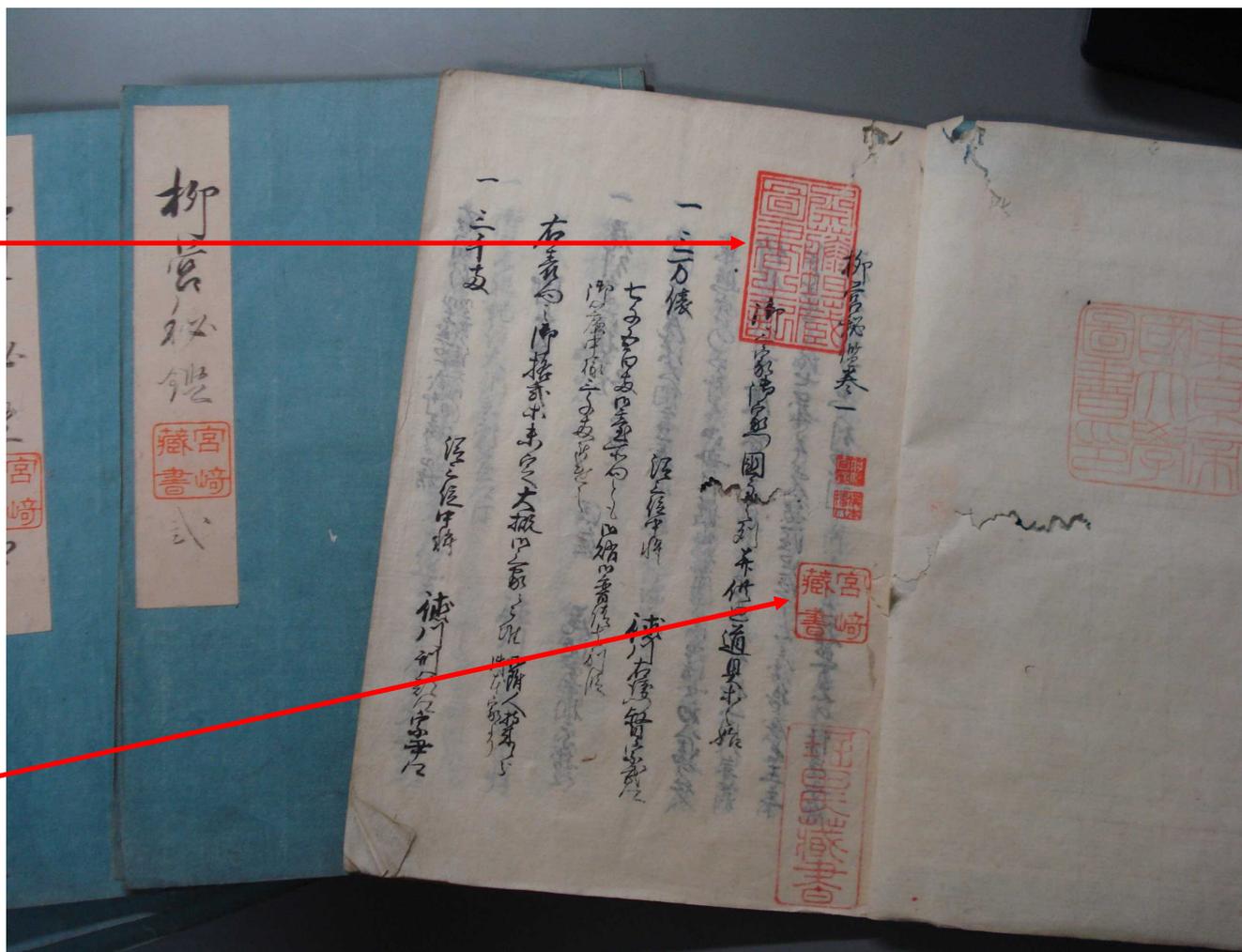
青洲文庫



齋藤坦蔵
圖書之記

『西洋錢譜』

法制史資料室所蔵史料に見える
「斎藤坦蔵凶書之記」印



『柳営秘鑑』 (甲2-650)